

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県は県有施設の自動販売機横に設置しているリサイクルボックスについて、新型への切り替えを進めています。記事を読み質問に答えましょう。

Q1 岡山県が設置を進めている新型のリサイクルボックスは、空容器以外の異物を入れにくくするために、どのような形になっていますか。第1段落を読み答えましょう。

Q2 記事では、自動販売機横のリサイクルボックスに平均でどれくらいの異物が混入していると書かれていますか。

Q3 岡山県は新型ボックスへの切り替えで、どのような効果を期待していますか。最後の段落を読み二つ答えましょう。

岡山県は県有施設の自動販売機横に設置しているリサイクルボックスについて、空容器以外の異物が入れにくい新型への切り替えを進めている。投入口を下向きにして口径を小さめに設定。消費者の意識を高め、循環型社会の推進につなげる。

新型はごみ箱と間違わないよう全体をオレンジ色にしており、前面にリサイクルを訴える県のオリジナルカラーを施している。

県有施設 自販機横



新型箱でリサイクル推進

ルステッカーを貼った。飲料メーカーでつくる全国清涼飲料連合会(東京)が開発し、昨秋から設置している。県はこれまで自販機の設置業者を通じ、利用者の多い県立図書館(岡山市北区立図書館)岡山県が切り替えを進めている新型のリサイクルボックス＝県立図書館

空容器以外入れにくく

丸の内)や県総合グラウンド(同いずみ町)、倉敷スポーツ公園(倉敷市中庄)など7施設に計57台を置いた。

自販機横のリサイクルボックスは平均で異物が3割混入しているとのデータがあり、県循環型社会推進課は「新型への切り替えでリサイクル効率が高まることも期待される。ごみの削減につながる」としている。(岡亮佑)

過去の問題は
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。